ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
EU41B302	学校マネジメント総合演習Ⅱ (Integrated Study of School Management Ⅱ)	実践演習科目	対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択必修	2	1	教育学研究科	後期	水1	日本語		複数(共同)

担当教員	氏名　熊丸真太郎，清國祐二，大島崇，山本遼，渡邉英樹，安田憲司，久保隆 E-mail　kumamaru@oita-u.ac.jp　内線　7550
授業の概要	第1回では、学校マネジメントのポイントを改めて概説し，学校マネジメントへの理解を深める。 第2・3回では、教員評価のロールプレイを実施し，効果的な実施方法について討議することで，スクールリーダーとしての実践力を高める。 第4～7回では、マネジメントの具体的事例をもとに課題を発見し，解決策を検討することで，学校マネジメントの実践を多面的に捉え，新たな学校マネジメントをデザインする能力を高める。 第8～13回では、小・中学校のフィールドワーク及びその省察を行い，学校の課題の分析と、その解決方策の検討を通して，学校の諸課題を解決するマネジメントのあり方を検討する。 第14～15回では、学生の現任校の課題への解決策の提案、検討することを通して，学校の多様な課題をスクールリーダーとして解決する能力を高める。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	学校マネジメントの実践を多面的に分析する	○		○				
目標2	学校の諸課題をマネジメントの観点から分析する	○		○				
目標3	学校の諸課題を解決するマネジメントのあり方を提案する	○	○	○				
目標4	学校マネジメントにおけるスクールリーダーシップのあり方を提案する	○	○	○				
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	3	3	4				

授業の内容

1	イントロダクション：学校マネジメントのポイント
2	教職員評価の実践演習（1）教職員評価システムの検討
3	教職員評価の実践演習（2）教職員評価面談のロールプレイ
4	学校マネジメントの事例分析演習（1）ミドルリーダーの育成
5	学校マネジメントの事例分析演習（2）機能的な組織づくり・業務の見直し
6	学校マネジメントの事例分析演習（3）保護者対応
7	学校マネジメントの事例分析演習（4）開かれた学校づくり
8	小学校へのフィールドワークの実施（1）授業見学及び施設見学
9	小学校へのフィールドワークの実施（2）管理職との学校経営に関する意見交換
10	小学校へのフィールドワークの省察
11	中学校へのフィールドワークの実施（1）授業見学及び施設見学
12	中学校へのフィールドワークの実施（2）管理職との学校経営に関する意見交換
13	中学校へのフィールドワークの省察
14	院生提案の課題の検討（1）
15	院生提案の課題の検討（2）

アクティブラーニング		その他の工夫
A:知識の定着・確認 ○ B:意見の表現・交換 ○ C:応用志向 ○ D:知識の活用・創造 ○	時間外学修（宿題），調べ学修（文献，インターネット），プレゼンテーション，ディスカッション（ガイド付き・フリー），事例研究，ロールプレイング（机上訓練），学びの省察	

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	授業資料の読解，疑問点の集約（10h） 該当回におけるプレゼンテーションの準備（25h）
	事後学修	授業で学習したことを整理し，獲得した知識等の定着を図るとともに獲得した知識等を用い，課題解決の方策を考える（10h）
	想定時間合計	45

教科書	教科書は指定しない。
参考書	日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのためのケースメソッド入門』花書院、2014年、ISBN9784905324980 日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのための「校長の専門職基準」』花書院、2015年、ISBN9784865610352 浜田博文『学校を変える新しい力－教師のエンパワーメントとスクールリーダーシップ』小学館、2012年、ISBN9784098401260

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%	○	○	○	○						
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%	○	○	○	○						

注意事項	本授業においては、擬似的な学校現場を想定し，院生間の相互作用的なコミュニケーションに基づく学び合いを重視する。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。
備考	
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	渡邉（小・中学校、教育委員会事務局）／安田（教育委員会事務局）／久保（中・義務教育学校）／清國（高等学校）
実務経験をいかした教育内容	小・中学校長及び教育事務所長（渡邉），教育事務所長（安田），義務教育学校長（久保），高等学校教諭（清國）としての実務経験をもとに，学校マネジメント全般に係る指導を行う。